

期末試験のお知らせ:

1月29日(木) 15:15 ~ 16:45

9-252 教室
(いつもと違うので注意)

- 体論・Galois 理論を巡る諸々
 - ★ 本日の講義内容まで
 - ★ 中間試験までの内容の復習も含む
- 学生証必携

授業アンケート

教員独自の設問:

- (1) 入学前、数学は好きでしたか
- (2) 今は数学は好きですか
- (3) 本学科の3年配当の選択科目として適切な内容だったと思いますか

数学講究発表会

- 期日: 2月3日(火)
- 時間: 9:30 ~ 17:30 頃の予定
- 会場: 3-249 教室
- 途中入退場自由
- 奮って来聴を

Dedekind-Artin の方法

線型代数を前面に押し出した論理展開で
Galois 理論の基本定理の証明に向かう方法

基本定理の証明だけなら最短かも

参考: E. Artin “Galois Theory” (和訳あり)

命題

G : 部分群 $\subset \text{Aut}(L)$

$K := L^G$

$\implies [L : K] \leq \#G$

Artin の定理

G : 部分群 $\subset \text{Aut}(L)$

$K := L^G$

$\implies L/K$: **Galois** 拡大で、 $\text{Gal}(L/K) = G$

ノルム・トレース

L/K : **Galois** 拡大、 $G = \text{Gal}(L/K)$

$Tr_{L/K} : L \longrightarrow K$: 加法群の準同型

$$x \longmapsto \sum_{\sigma \in G} \sigma(x)$$

$N_{L/K} : L^\times \longrightarrow K^\times$: 乗法群の準同型

$$x \longmapsto \prod_{\sigma \in G} \sigma(x)$$

正則表現

L/K : n 次拡大

$L \simeq K^n$ (K 上の線型空間として)

$x \in L$ に対し、

$\varphi_x : L \longrightarrow L$: K -線型写像

$$a \longmapsto xa$$

$\varphi : L \longrightarrow \text{End}_K(L) \simeq M(n, K)$

$$x \longmapsto \varphi_x$$

: K -代数の単射準同型

ノルム・トレースと正則表現

L/K : **Galois** 拡大でない場合にも、

$$Tr_{L/K}(x) = \text{tr} \varphi_x$$

$$N_{L/K}(x) = \det \varphi_x$$

と定義すると、

L/K : **Galois** 拡大のときには、

先程の定義と一致

Kummer 拡大

K : 体 $\ni \zeta_n : 1$ の原始 n 乗根

L/K : n 次巡回拡大

(即ち、 L/K : **Galois 拡大** で

$\text{Gal}(L/K)$ が n 次巡回群)

$\text{Gal}(L/K) = \langle \sigma \rangle$ とする時、

$\implies \exists a \in K : L = K(\sqrt[n]{a}), \sigma(\sqrt[n]{a}) = \zeta_n \sqrt[n]{a}$

特に、

$$\text{Gal}(L/K) \xrightarrow{\sim} \mu_n$$

$$\tau \longmapsto \tau(\sqrt[n]{a}) / \sqrt[n]{a}$$

これにて

おしまい